後席用取扱書

よくお読みになってご使用ください。

取扱書は車の中に保管しましょう。

TABLE OF CONTENTS
目次

別冊「センチュリー取扱書」、「エレクトロマルチビジョン取扱書」も併せてお読みください。

TABLE OF CONTENTS | 目次

1 リヤドア・リヤドアガラス

2 リヤシート

3 室内装備の使い方

4 お手入れのしかた

4-1. お手入れのしかた

5 カスタマイズ

5-1 カスタマイズ機能

さくいん

後席周辺

マイナスイオン吹き出し口 P. 62
バニティミラー P. 82
ドアレバー P. 16
靴べら入れ P. 89
A
B
C
D
BTO00BN001
リヤシート P. 22
オットマンレバー P. 31
エアピュリファイヤー吹き出し口 P. 60

A
ドアガラス
リフレッシング
シートヒーター
切
ドアガラス開閉スイッチ P. 19
リフレッシュシートスイッチ P. 38
シートヒーター スイッチ P. 34
BTO00BN002

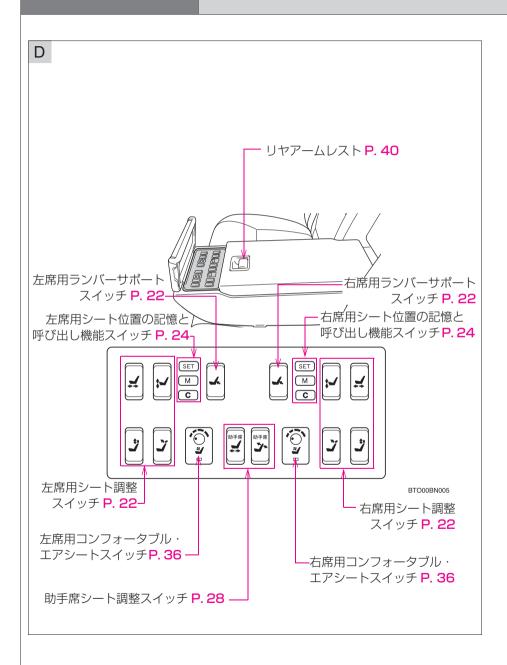
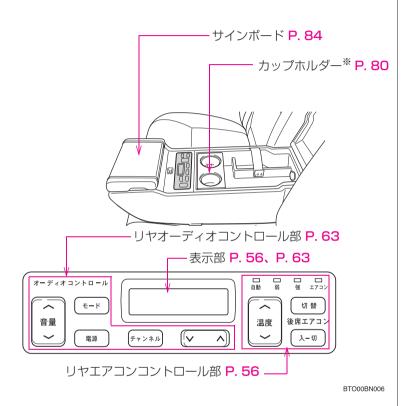
後席周辺

B
格納式コートフック P. 88
室内灯 P. 74
リヤエアコン吹き出し口 P. 60
明
暗
BTO00BN003
角度調整式読書灯 P. 76

C

※1：カップホルダーは、仕様により、リヤセンターアームレスト内に装備される場合もあります。
（リヤセンターアームレスト内に装備される場合は、P. 9 をご覧ください。）

※2：別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」を参照ください。

D
リヤアームレスト P. 40
左席用ランバーサポート
スイッチ P. 22
右席用ランバーサポート
スイッチ P. 22
左席用シート位置の記憶と
呼び出し機能スイッチ P. 24
右席用シート位置の記憶と
呼び出し機能スイッチ P. 24
SET
M
C
助手席
助手席
左席用シート調整
スイッチ P. 22
右席用シート調整
スイッチ P. 22
BTO00BN005
左席用コンフォータブル・
エアシートスイッチ P. 36
右席用コンフォータブル・
エアシートスイッチ P. 36
助手席シート調整スイッチ P. 28

D

※：カップホルダーは、仕様により、リヤコンソールタワー内に装備される場合もあります。
（リヤコンソールタワー内に装備される場合は、P. 7 をご覧ください。）

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。
そのため、お客様のお車にはない装備の説明が記載されている場合があります。
また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。
トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様のお車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故をおこし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
  - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換。
    異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
  - ・ 電装品・無線機などの取り付け、取りはずし。
    電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
- フロントガラス、および運転席・助手席の窓ガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

運転についてのご注意

他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。

飲酒運転は絶対しないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。

運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。

お子さまを乗せるときは

お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、ライター、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思いがけない事故につながるおそれがあり危険です。

お車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などについては、別冊「センチュリー取扱書」をお読みください。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。(法律で義務付けられています)

本書の中の表示について

警告、注意、知識について

警告

ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

注意

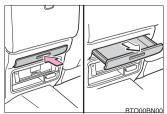
ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

知識

機能の説明や操作方法の説明以外で知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト内の表示について

セーフティシンボル

“してはいけません”“このようにしないでください”“このようなことを起こさないでください”という意味を表しています。

操作を示す矢印

スイッチなどの操作（押す、まわすなど）を示しています。

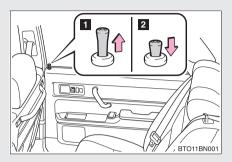
操作後の作動（フタが開くなど）を示しています。

リヤドア・リヤドアガラス

1

リヤドアの解錠・施錠

ドアロックボタンでリヤドアの解錠・施錠ができます。

1 解錠

2 施錠

キーを使わずに外側から後席ドアを施錠するときは

ドアを開いた状態でドアロックボタンを施錠側にし、ドアを閉じます。

知識

■車速感応オートドアロック

車速が約 20km/h 以上になると、すべてのドアが自動的に施錠されます。

■衝撃感知ドアロック解除システム

車両が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。衝撃の度合いや事故の形態によっては作動しないことがあります。

■販売店で設定可能な機能

車速感応オートドアロックの設定を変更できます。
（カスタマイズ機能一覧 →P. 96）

警告

■事故を防ぐために

走行中は次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、思いもよらずドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

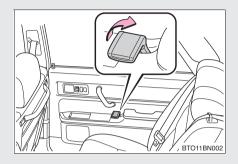
●シートベルトを必ず使用する

●すべてのドアを施錠する

●すべてのドアを確実に閉める

●走行中はドア内側のドアレバーを引かない
ドアが開き車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

リヤドアの開閉

リヤドアが施錠されていない状態のとき、ドアレバーでリヤドアの開閉ができます。

レバーを引き上げる

知識

■リヤドアクローザー

ドアが半ドア状態になったとき、リヤドアクローザーが働き、ドアが自動で完全に閉まります。

- ●エンジン　スイッチがどの状態であっても、リヤドアクローザーは作動します。
- ●車内や車外のドアレバーを引いたままドアを閉めたときは、リヤドアクローザーは作動しません。
- ●リヤドアクローザーが作動中でも、車内のドアレバーや車外のドアレバーを引いてドアを開けることができます。（ドアロックボタンが施錠側のときを除く）
- ●リヤドアクローザーでドアが閉まったあと数秒間モーター音が聞こえますが、異常ではありません。

警告

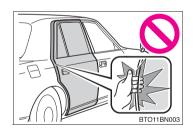
■事故を防ぐために

乗車中は次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、思いもよらずドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトを必ず使用する
- すべてのドアを施錠する
- すべてのドアを確実に閉める
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない
  ドアが開き車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ドアを開閉するときは

傾斜地、ドアと壁などのあいだが狭い場所、強風など周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアレバーを確実に保持してドアを開閉してください。

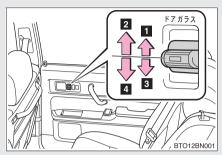
■リヤドアクローザーについて

- ドアが半ドア状態のときリヤドアクローザーが働き自動的に閉まるため、指などを挟まないように十分注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 半ドア状態からリヤドアクローザーが作動するまで数秒かかります。指などをドアの隙間に挟まないでください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ドアロックボタンが施錠側になっているドアは、リヤドアクローザーの作動を停止できないため、特にご注意ください。

注意

■リヤドアクローザーの故障を防ぐために

ひんぱんにドアの開閉をくり返したり、リヤドアクローザーの作動中にドアに無理な力をかけたりしないでください。

リヤドアガラスの開閉

スイッチでドアガラスを開閉できます。

1 閉める
2 自動全閉※（強く上げる）
3 開ける
4 自動全開※（強く下げる）

※途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。

知識

■作動条件

エンジン スイッチが“ON”のとき

■挟み込み防止機能

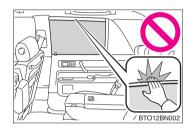
ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■ウインドウロックスイッチ

運転席のウインドウロックスイッチがロックになっているときは、後席スイッチでリヤドアガラスを開閉することはできません。ウインドウロックスイッチについては別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください。

警告

■ドアガラスを開閉するときは

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ドアガラスを開閉するときは、乗員の手、腕、頭、首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。

●お子さまには、ドアガラスの操作をさせないでください。
ドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■挟み込み防止機能

●挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手、腕、頭、首などを挟んだりしないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを上げ続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意

■ドアガラスを開閉するときは

次のことをお守りください。

●運転席スイッチと他のドアのスイッチを同時に逆方向に動かさない

●ドアガラスの全開、全閉後に同じ方向にスイッチを押し続けない

リヤシート 2

2-1. シートの調整のしかた

2-2. 安全にお使いいただくために

リヤシートの調整

リヤシートを電動で調整できます。

手順 1 リヤセンターアームレストの前側のフタを開ける（→ P. 40）

手順 2

1 シート前後調整

2 シートクッション前部の高さ調整

3 ヘッドレスト上下調整

4 ヘッドレスト前後調整

5 ランバーサポート（背もたれ腰部の硬さ）調整

知識

■リヤヘッドレストの取りはずしについて

ヘッドレストの取りはずし、取り付けについてはトヨタ販売店にご相談ください。

■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。

警告

■ヘッドレストについて

次のことをお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

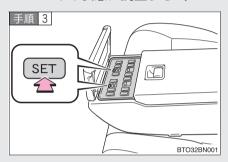
- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

シートの位置の記憶と呼び出し機能

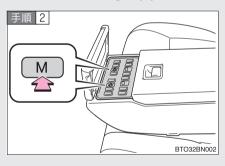
お好みのシートポジションを登録して、ワンタッチで呼び出すことができます。

■ ポジションの登録

手順 1 リヤセンターアームレストの前側のフタを開ける（→ P. 40）

手順 2 シート前後位置調整とシートクッション前部の高さ調整を好みの状態に調整する（→ P. 22）

SET ボタンを“ピー”と音が鳴るまで押し続ける

手順 2 で調整したシートの位置が記憶されます。

■ ポジションの呼び出し

M ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押し続ける

記憶されているシート位置までシートが動きます。

知識

■作動条件

エンジン スイッチが“ ON”のとき

■ポジションの呼び出しについて

助手席の背もたれ中央部が後方に倒してあるときは、左側のシートは作動しません。

■ポジションの呼び出し作動を途中で止めるには

次のいずれかの操作をします。

●SET ボタンを押す

●M ボタンを押す

●シートクッション前部高さ調整ボタンを押す

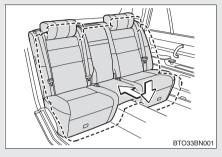
●シート前後位置調整ボタンを押す

●C ボタンを押す（→ P. 27）

■バッテリーをはずしたときは

記憶されたシートポジションは消去されます。

ドア開連動リターン作動機能

リヤドアを開けると、リヤシートが前方位置に調整してあっても、自動的に後方へ動き、車から降りやすくなります。

降車時：リヤシートが後方に移動

シートクッションが上がっているときは、このとき同時にシートクッションが下がります。

乗車時：リヤシートがもとの位置※に移動

※リヤシートのポジションをお好みの位置に調整しておけば、リヤシートがその位置で記憶されます。

ドア開連動リターン作動機能によってシートが作動している途中で、再度ドアを閉めても作動は停止しません。

知識

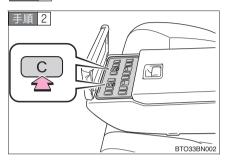
■作動条件

次の条件が満たされているときに作動させることができます。

- ●エンジン スイッチが“ ON”のとき
- ●シフトレバーが P のとき（または、ブレーキペダルを踏んで停車しているとき）

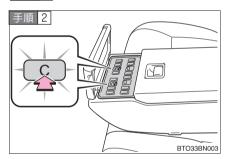
ドア開連動リターン作動が不要なときは

ドア開連動リターン作動機能をあらかじめ働かないようにできます。

手順 1 リヤセンターアームレストの前側のフタを開ける（→ P. 40）

ボタンを押す

ボタンの C の部分が点灯します。

■ 再度、ドア開連動リターン作動機能を作動させるには

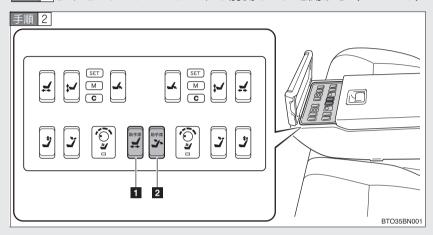
手順 1 リヤセンターアームレストの前側のフタを開ける（→ P. 40）

ボタンの C の部分が点灯している状態で、ボタンを押す

ボタンの C の部分が消灯します。

後席からの助手席の操作

後席側から、助手席を電動で調整できます。

手順 1 リヤセンターアームレストの前側のフタを開ける（→ P. 40）

手順 2

1 助手席前後位置調整

2 助手席リクライニング調整

警告

■シート調整について

●シートが乗員や荷物にあたらないように注意してください。

●背もたれは必要以上に倒さないでください。
事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■後席からの助手席操作について

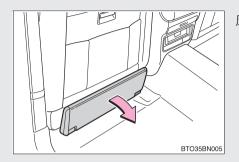
助手席に乗員がいるときは操作をしないでください。また、操作中は、助手席に座らないでください。足を挟むなどして助手席乗員がけがをするおそれがあります。

注意

■運転席または後席からの助手席操作について

操作するときは助手席の上や足元に作動をさまたげるものがないことを確認してください。シートに無理な力がかかり故障するおそれがあります。

フットレスト

後席にお乗りになる方の足元の快適性を高めます。

床につくまで手前に倒す

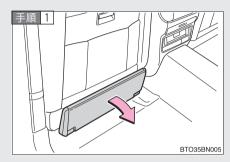
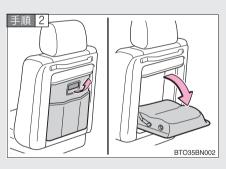
知識

■フットレストの角度について

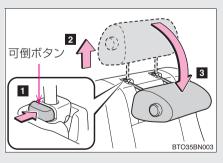
助手席シートのクッションの上下調整などにより、フットレストの角度を調整できます。詳しくは、別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください。

オットマン機能

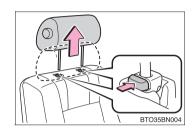
助手席の背もたれ、ヘッドレストをお好みの状態にすることができます。

■ オットマンシート

フットレストを床につくまで手前に倒す

レバーを引き上げ、背もたれの中央部を後方へ倒す

リヤシート、助手席シートはお好みの位置に調整してください。

■ 可倒式ヘッドレスト

ヘッドレストをいちばん上まで引き上げたあと、可倒ボタンを押して、さらに引き上げ、ヘッドレストを前に倒します。

知識

■可倒式ヘッドレストの取りはずし

両側のボタンを押しながら、ヘッドレストを引き上げます。

■オットマンシートについて

フットレストを倒さずにオットマンを使用することもできますが、フットレストが下がってくる場合があります。

■可倒式ヘッドレストについて

シートのポジションにより、ヘッドレストと車両天井が干渉し可倒できない場合があります。その際は、助手席のシート上下調整を下げるなど、無理な力をくわえず倒してください。

警告

■可倒式ヘッドレストについて

ヘッドレストを倒したまま助手席に人を乗せないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。人を乗せるときは、必ず走行前にヘッドレストを引き起こして正しい位置に調整してください。

■オットマンシートについて

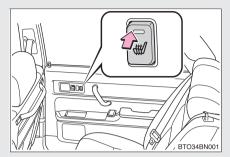
リヤ席、助手席をお好みの位置に調整するときに、手や足を挟まないよう注意してください。

注意

■運転席または後席からの助手席操作について

操作するときは助手席の上や足元に作動をさまたげるものがないことを確認してください。シートに無理な力がかかり故障するおそれがあります。

シートヒーター

シートを暖めることができます。

スイッチ上側を押す

シートヒーターが ON のときは、インジケーターが点灯します。
シートが暖まると自動的に「弱」になります。

もう一度スイッチを押すとOFFになります。

コンフォータブル・エアシート（→ P. 36）が作動していた場合、コンフォータブル・エアシートの作動は停止します。

知識

■作動条件

●エンジン スイッチが“ON”のとき

●コンフォータブル・エアシート（→ P. 36）と同時に使用することはできません。

■前席からの操作

前席からリヤシートヒーターを操作することもできます。前席からの操作については別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください。

警告

■やけどを防ぐために

●低温やけどを負うおそれがあるため、次の方は特にご注意ください。

・乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方
・皮膚の弱い方
・疲労の激しい方
・深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用された方

●シートに毛布、クッションなどを使用しないでください。
シートヒーターの使用により保温性が高まり異常過熱の原因になります。

注意

■シートヒーターの故障を防ぐために

凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンが停止しているときは使用しないでください。

コンフォータブル・エアシート

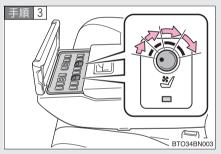
シート表面を冷やすことができます。

手順 1 リヤセンターアームレストの前側のフタを開ける（→ P. 40）

ツマミを押す

コンフォータブル・エアシートがON のときは、インジケーターが点灯します。

もう一度スイッチを押すとOFFになります。

シートヒーター（→ P. 34）が作動していた場合、シートヒーターの作動は停止します。

ツマミをまわして温度を設定する

４段階に調整することができます。

知識

■作動条件

●エンジン スイッチが“ON”のとき

●シートヒーター（→ P. 34）と同時に使用することはできません。

■前席からの操作

前席からもコンフォータブル･エアシートの ON / OFF の切りかえができます。前席からの操作については別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください。

■フィルターについて

コンフォータブル・エアシートにはフィルターが入っています。交換の際にはトヨタ販売店にご相談ください。
交換の目安：15000km ごと（ただし、1 年をこえないこと）

警告

■冷やしすぎを防ぐために

●冷やしすぎのおそれがあるため、次の方は特にご注意ください。

・乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方
・皮膚の弱い方
・疲労の激しい方
・深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用された方

注意

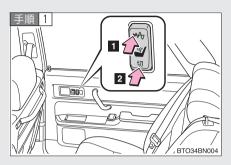
■コンフォータブル・エアシートの故障を防ぐために

凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンが停止しているときは使用しないでください。

リフレッシュシート（バイブレーター付シート）

バイブレーターの作動を利用したリフレッシュシートです。

スイッチ上側を押す

スイッチ上側を押すと作動を開始します。

スイッチ上側を押し続けると振動の速さが変化します。

スイッチ下面「切」を押すとバイブレーターが停止します。

知識

■作動条件

エンジン スイッチが“ON”のとき

■自動停止機能

バイブレーター作動は、開始から約 30 分で自動的に停止します。

警告

■ご使用について

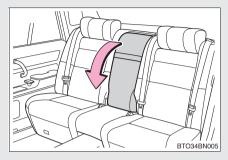
- 妊娠中の方、出産直後の方、発疹悪性腫瘍、静養を要する疾患（心臓疾患）のあるかたは、使用する前に必ず医師に相談してください。
- お子さまは使用しないでください。
- 食後や飲酒後、または長時間の使用は避けてください。
- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を止めてください。
- バイブレーターを改造したり、他の目的で使用しないでください。装置が故障するばかりではなく、けがをするおそれがあります。

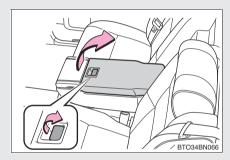
⚠ 注意

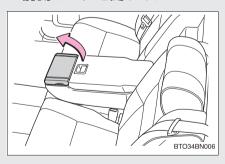
■故障したときは

ただちに使用を中止しトヨタ販売店で点検を受けてください。

アームレスト

■ 使用するには

倒して使用します。

■ うしろ側のフタを開けるには

レバーを引き上げ、後方にフタをおこす

■ 前側のフタを開けるには

前方にフタをおこす

注意

■アームレストの破損を防ぐために

過度の負荷をかけないでください。

リヤシートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

■ 正しく着用するには

BTO21BN001

● 肩部ベルトを肩に十分かける

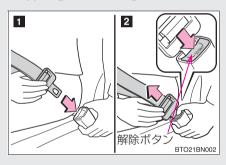
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。

● 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる

● 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る

● ねじれがないようにする

■ 着け方、はずし方

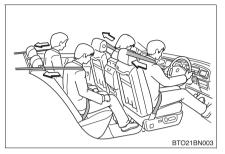
BTO21BN002

1 固定

“カチッ”と音がするまで挿し込みます。

2 解除

解除ボタンを押します。

シートベルトプリテンショナー（中央席を除く）

BTO21BN003

前方から強い衝突を受けたとき、シートベルトを巻き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃のときは作動しない場合があります。

知識

■緊急時シートベルト固定機構

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■妊娠中の女性や疾患のある方の場合

BTO21BN004

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。（→P. 42）

妊娠中の方も、通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に着用してください。また、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■お子さまのシートベルトの使い方

車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

●シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシート※を使用してください。

●シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→P. 42)

■シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝突を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

●車に乗るときは全員がシートベルトを着用する

●シートベルトを正しく着用する

●シートベルトは 1 つにつき一人で使用する
お子さまでも 1 つのベルトを複数の人で使用しない

●お子さまはリヤシートに座らせてシートベルトを着用させる

●上体を起こし、シートに深く座る

●肩部ベルトを腕の下に通して着用しない

●腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置に密着させ着用する

※：別冊「センチュリー取扱書」を参照ください。

警告

■**シートベルトの損傷・故障について**

●ベルトやプレート、バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。

●シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。

●プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。

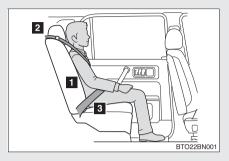
●もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。

●プリテンショナー付シートベルトの取り付け、取りはずし、分解、廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。
不適切に扱うと、正常に作動しなくなり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■**プリテンショナー付シートベルトについて**

シートベルトプリテンショナーが作動すると SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

正しい乗車姿勢

次の条件にあった正しい姿勢で乗車してください。

1 まっすぐ座り、背もたれから背を離さない（→ P. 22）

2 ヘッドレストの中央が耳の後方になる（→ P. 22）

3 シートベルトが正しく着用できる（→ P. 42）

⚠ 警告

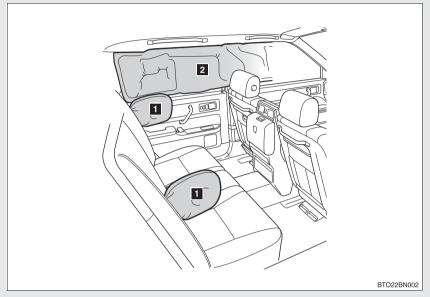
■走行中は

背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。

■シートを調整するときは

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、けがをするおそれがあり危険です。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。

1 SRS サイドエアバッグ
（リヤ外側席乗員の胸などへの衝撃を緩和）

2 SRS カーテンシールドエアバッグ
（リヤ外側席乗員の主に頭への衝撃を緩和）

知識

■SRS エアバッグが展開すると

●SRS　エアバッグとの接触により、打撲やすり傷などを受けることがあります。

●作動音とともに白いガスが発生します。

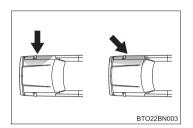
●後席、ルーフサイドレール、などだけでなくエアバッグモジュールの各部品（エアバッグカバー、インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。

■SRSエアバッグが作動するとき（SRSサイドエアバッグ＆SRSカーテンシールドエアバッグ）

SRS　サイドエアバッグ・SRS　カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5t の車両が、約 20 ～ 30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

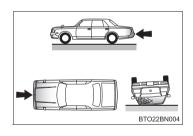
■SRSエアバッグが作動しないとき(SRSサイドエアバッグ＆SRSカーテンシールドエアバッグ)

斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイドエアバッグ・SRS カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

BTO22BN003

●客室部分以外の側面への衝撃

●斜めからの衝撃

SRS サイドエアバッグ・SRS カーテンシールドエアバッグは、前方や後方からの衝撃、横転、または低速での側面からの衝撃で作動するようには設計されていません。

BTO22BN004

●前方からの衝突

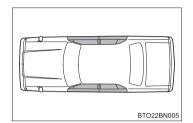
●後方からの衝突

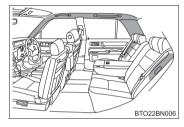
●横転

■トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

●いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき

BTO22BN005

●SRS サイドエアバッグ・SRS カーテンシールドエアバッグはふくらまなかったが、事故でドア部分が衝突したとき、または破損・変形などがあるとき

BTO22BN006

●SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が、傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

●SRS カーテンシールドエアバッグが内蔵されているリヤピラー部、ルーフサイド部が、傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

⚠ 警告

■**SRS エアバッグについて**

必ず次のことをお守りください。
お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。

●助手席 SRS エアバッグも強い力でふくらむため、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。

●お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。お子さまが小さくてシートベルトが使えないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。
お子さまは後席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめいたします。（別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください）

●ドアやセンターピラー・リヤピラー、ルーフサイドレールへ寄りかからない

●助手席や、リヤ外側席でドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない

警告

■SRS エアバッグについて

- ドア、フロントガラス、ドアガラス、フロントピラーおよびリヤピラー、ルーフサイドレール、アシストグリップなどには何も取り付けない

- SRS サイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。
- コートフックにハンガーなどの硬いものをかけないでください。
SRS カーテンシールドエアバッグが作動したときに投げ出されて重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているためふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとにもし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS エアバッグが収納されているリヤピラー部、ルーフサイド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときはそのまま使用せず、トヨタ販売店で交換してください。

警告

■改造・廃棄について

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理

●シート、シート表皮、センターピラー・リヤピラー、ルーフサイドレールの修理、取りはずし、改造

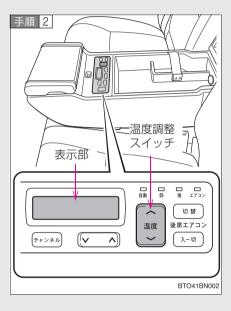
●サスペンションの改造

●CD プレーヤー、無線機などの電化製品の取り付け

室内装備の使い方 3

後席からのフロントエアコンの操作

後席からフロントエアコンの設定温度を、独立して調整することができます。

手順 1 リヤセンターアームレストのうしろ側のフタを開ける（→ P. 40）

後席および助手席付近の設定温度をかえるには

設定温度を上げるときは運転席の

の∧を、下げるときは∨を押す

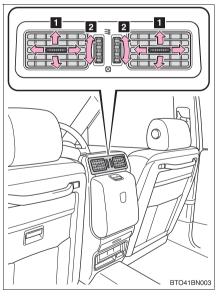
知識

■作動条件

フロントエアコンが作動しているとき

■設定温度について

- フロントエアコンの独立調整は運転席または助手席でも行うことができます。別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください。
- 助手席で、助手席付近の設定温度を調整した場合は、運転席付近の設定温度は変更されませんが、後席の設定温度は助手席付近の設定温度と同じになります。別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください。

風向きの調整と吹き出し口の開閉

1 風向きの調整

2 吹き出し口の開閉

エアピュリファイヤー（空気清浄器）付リヤエアコンの操作

後席の冷房をするための、エアピュリファイヤー付リヤエアコンが装備されています。

手順 1 リヤセンターアームレストのうしろ側のフタを開ける（→ P. 40）

エアピュリファイヤー付リヤエアコンを作動させるには

入ー切 を押す

スイッチを押すたびにエアピュリファイヤー付リヤエアコンの ON・OFF が切り替わります。

エアピュリファイヤー付リヤエアコンの作動状態を切りかえるには

切替 を押す

スイッチを押すごとにエアピュリファイヤー付リヤエアコンの作動が切り替わります。

■ フロントエアコンのエアコンスイッチが ON のとき

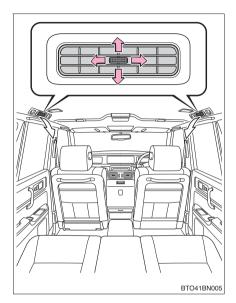
切替 を押すごとに、「自動→弱→弱 , エアコン→強 , エアコン→自動」の順にモードが切り替わります。

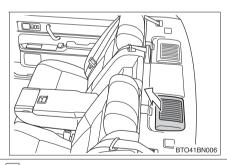
<table>
<tr><th></th><th>リヤエアコン</th><th>エアピュリファイヤー</th><th>風量</th></tr>
<tr><td>自動</td><td colspan="3">自動調整</td></tr>
<tr><td>弱</td><td>停止</td><td rowspan="3">作動</td><td rowspan="2">弱</td></tr>
<tr><td>弱 , エアコン</td><td rowspan="2">作動</td></tr>
<tr><td>強 , エアコン</td><td>強</td></tr>
</table>

■ フロントエアコンのエアコンスイッチが OFF のとき

切替 を押すごとに、「自動→弱→強→自動」の順にモードが切り替わります。

<table>
<tr><th></th><th>リヤエアコン</th><th>エアピュリファイヤー</th><th>風量</th></tr>
<tr><td>自動</td><td rowspan="3">停止</td><td rowspan="3">作動</td><td>自動調整</td></tr>
<tr><td>弱</td><td>弱</td></tr>
<tr><td>強</td><td>強</td></tr>
</table>

風向きの調整

ノブまたは吹き出し口本体を動かして調整します

エアピュリファイヤーの吹き出し口

知識

■フィルターについて

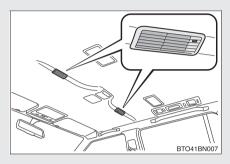
エアピュリファイヤーにはフィルターが取り付けられています。交換の際にはトヨタ販売店にご相談ください。
交換の目安：15000km ごと（ただし、1 年をこえないこと）

注意

■故障を防ぐために

必ずフィルターを装着した状態でエアピュリファイヤーを使用してください。フィルターを装着せずにエアピュリファイヤーを使用すると故障の原因となることがあります。

マイナスイオン発生器について

車内の空気改質、快適性向上のため、マイナスイオン発生器が装着されています。
マイナスイオン発生器の操作は前席で行います。操作については別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください。

作動している吹き出し口の作動表示灯が点灯します。

知識

■作動表示灯について

マイナスイオン発生器を作動させたとき、吹き出し口の作動表示灯の点灯が遅れることがありますが、故障ではありません。

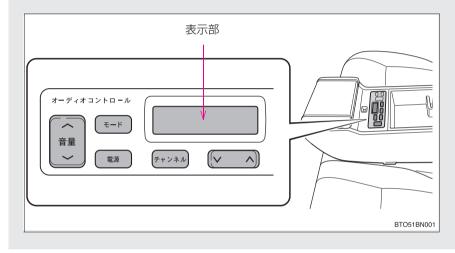
警告

■マイナスイオン発生器について

- マイナスイオン発生器は高電圧を利用しています。危険ですので、修理などは必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 吹き出し口付近にスプレーを噴射したり、棒などの異物を挿入したりしないでください。故障や感電の原因となります。

オーディオ

DVD プレーヤーおよびテレビの操作については、別冊の「エレクトロマルチビジョン取扱書」をご覧ください。

前席でのオーディオ操作については、別冊の「センチュリー取扱書」をご覧ください。
リヤセンターアームレストのうしろ側のフタを開いたところにリヤオーディオ操作部があります（→ P. 40）

タイトル	参照ページ
ラジオを聞く	P. 65
前席オーディオのカセットテープを聞く	P. 67
CD を聞く	P. 69
快適に聞くために	別冊「センチュリー取扱書」をご覧ください

知識

■携帯電話の使用

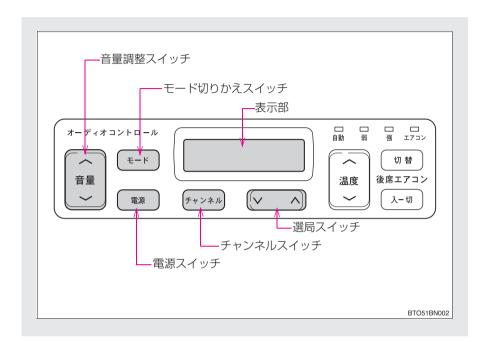
オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーから雑音が聞こえるときがあります。

注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジン停止中にオーディオを長時間使用しないでください。

■オーディオの取り扱いについて

オーディオに飲み物などをこぼさないように注意してください。

ラジオを聞く

音量を調整するには

［音量］の︿（大）または﹀（小）を押して、お好みの音量に調整する

モードを切りかえるには

手順 1 ［電源］を押して電源を ON にする

OFF にするときは、もう一度スイッチを押します。

手順 2 ［モード］を押して、ラジオ放送バンドを選択する

スイッチを押すごとに次のように切りかわります。

FM→ テープ →CD オートチェンジャー →DVD プレーヤー※ →テレビ※→ AM → SW（短波）→ FM

※ DVD プレーヤー、テレビの操作については、別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」をご覧ください。

放送局を選局する

■ 選局する

[∨ ∧]の∧（高い周波数）または∨（低い周波数）を押して、お好みの放送局を探す

“ピッ”と音が鳴るまで押すと、自動で受信可能な周波数を選択します。

■ 前席であらかじめ放送局を記憶している場合は

[チャンネル] を 押す

スイッチを押すごとに、記憶された放送局が切りかわります。

知識

■モード切りかえについて

テープ、CD オートチェンジャー、DVD プレーヤーは使用可能な状態以外のときは、飛ばされて選択することはできません。

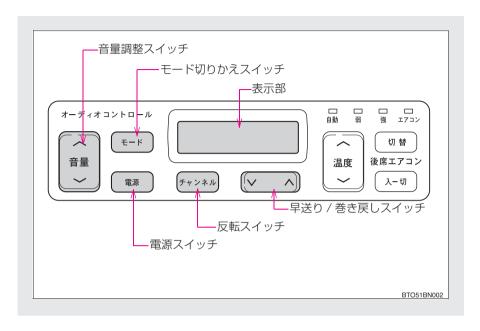
■バッテリーとの接続が断たれたときは

記憶されていた放送局が消去されます。

■受信感度について

- アンテナの位置がそのときどきでかわるため、電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を保つことが難しい場合もあります。
- ラジオ用アンテナはリヤガラスに埋め込まれています。

■SW（短波）バンドについて

SW（短波）バンドはあらかじめ放送局がプリセットされています。

カセットテープを聞く

音量を調整するには

［音量］の ︿（大）または ﹀（小）を押して、お好みの音量に調整する

モードを切りかえるには

手順 1 ［電源］を押して電源を ON にする

OFF にするときは、もう一度スイッチを押します。

手順 2 ［モード］を押して、テープモードを選択する

スイッチを押すごとに次のように切りかわります。

FM→ テープ →CD オートチェンジャー →DVD プレーヤー※ →テレビ※→ AM → SW（短波）→ FM

テープモードが選択されないときは、車のオーディオにテープがセットされているかご確認ください。

※ DVD プレーヤー、テレビの操作については、別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」をご覧ください。

早送り／巻きもどしをする

[∨ ∧]の∧（早送り）または∨（巻き戻し）を押す

解除するときは、もう一度スイッチを押します。

テープの再生面を切りかえる

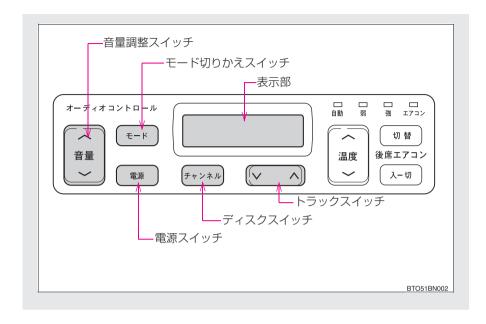
[チャンネル]を押す

A 面から B 面、または B 面から A 面と再生面が切りかわります。

知識

■モード切りかえについて

テープ、CD オートチェンジャー、DVD プレーヤーは使用可能な状態以外のときは、飛ばされて選択することはできません。

CD を聞く

音量を調整するには

［音量］の∧（大）または∨（小）を押して、お好みの音量に調整する

モードを切りかえるには

手順 1 ［電源］を押して電源を ON にする

OFF にするときは、もう一度スイッチを押します。

手順 2 ［モード］を押して、CD オートチェンジャーモードを選択する

スイッチ押すごとに次のように切り替わります。

FM→ テープ →CD オートチェンジャー →DVD プレーヤー※ →テレビ※→ AM → SW（短波）→ FM

CD オートチェンジャーモードが選択されないときは、CD オートチェンジャーに CD がセットされているかご確認ください。

※ DVD プレーヤー、テレビの操作については、別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」をご覧ください。

CD を選択する

チャンネル を押す

押すごとに、次の CD が選択されます。

曲を選ぶ

∨ ∧ の ∧（うしろ）または ∨（まえ）を押して聞きたい曲を選択する

知識

■モード切りかえについて

テープ、CD オートチェンジャー、DVD プレーヤーは使用可能な状態以外のときは、飛ばされて選択することはできません。

■エラー表示

- "CD ERR1"：CD が汚れているなど読み取りができない
- "NO dISC"：マガジンに CD がセットされていない
- "CD ERR3"：CD オートチェンジャーの異常
- "CD ERR4"：CD オートチェンジャーの異常
- "WAIT"：CDオートチェンジャーの温度異常時に表示され、自動的にCDオートチェンジャーの機能が停止します。しばらくして CD オートチェンジャーの温度が通常に復帰すると、表示が消えて使用可状態になります。

上記以外でも CD オートチェンジャーの内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に CD オートチェンジャーの機能が停止します。この場合、前席側のオーディオのディスクスイッチを押してください。
それでもなお、機能が停止するときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■再生可能な CD

次のマークのついたディスクが再生できます。記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、劣化により再生できないことがあります。

コピープロテクト機能付 C D などは使用できません。

■CD プレーヤー保護機能

プレーヤー内部を保護するため、使用中に異常が生じたときは自動的に再生が停止します。

■CD をプレーヤー内部に、またはプレーヤーから飛び出した状態のままで長時間放置すると

CD が傷付き使用できなくなるおそれがあります。

■レンズクリーナー

レンズクリーナーを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障するおそれがあります。

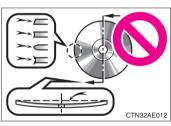
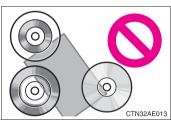
⚠ 注意

■8cmCD を使用するときは

トヨタ純正 8cmCD トレイが必要です。
8cmCD アダプターやトヨタ純正品以外のトレイを使用すると、CD オートチェンジャーの故障の原因になります。
トヨタ純正 8cmCD トレイについては、トヨタ販売店にご相談ください。

■使用できない CD、アダプター

次のような CD や 8cm CD アダプター、Dual Disc を使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障したり、CD の出し入れができなくなるおそれがあります。

●直径12cmまたは8cm の円形以外のCD

●低品質または変形している CD

●記録部分が透明または半透明の CD

●セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどを貼った CD や、はがしたあとのある CD

注意

■**CD プレーヤーの取り扱いについて**

次のことをお守りいただかないと、CD が聞けなくなったり、CD プレーヤーが正常に働かなくなるおそれがあります。

●CD 挿入口に CD 以外のものを入れない

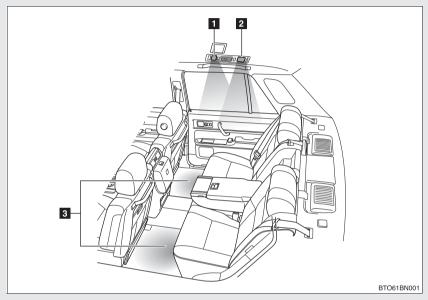
●CD プレーヤーにオイルを塗ったりしない

●CD は直射日光を避けて保管する

●CD プレーヤーを分解しない

●変形したディスクを使用しない

室内灯一覧

夜間の乗降を補助するために、イルミネーテッドエントリーシステムが付いています。ドアの解錠・施錠、ドアの開閉、エンジン スイッチの位置などによって各部の照明が点灯・消灯・減光します。

1 室内灯
2 角度調整式読書灯
3 足元照明

知識

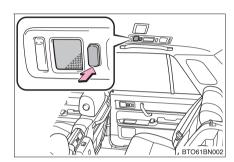
■販売店で設定可能な機能

室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。
（カスタマイズ機能一覧 →P. 96）

注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態で長時間点灯させないでください。

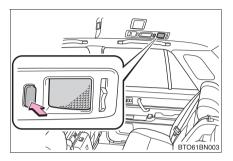
室内灯

点灯／消灯

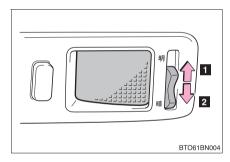
知識

■室内灯について

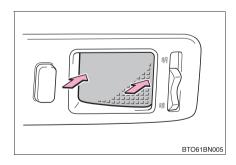
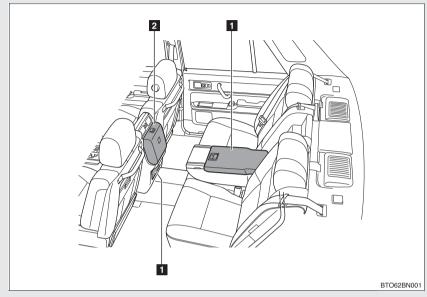
ドアを開けて点灯しているときは、スイッチにより消灯することはできません。

角度調整式読書灯

■ 点灯 / 消灯する

点灯／消灯

■ 明るさを調整する

1 明

2 暗

■ 角度を調整する

収納装備一覧

1 小物入れ

2 カップホルダー※

※：カップホルダーは仕様により、リヤセンターアームレスト内に装備される場合もあります。

⚠ 警告

■収納装備に放置してはいけないもの

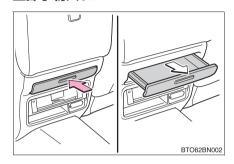
メガネ、ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。

放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- ●室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
- ●室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

小物入れ

上部小物入れ

BTO62BN002

フタを押す

手前に出した状態からさらに引き出すと、小物入れを取りはずすことができます。

下部小物入れ

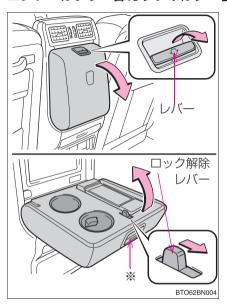
BTO62BN003

警告

■走行中の警告

上部小物入れを必ず閉じてください。
急ブレーキ時などに、開いたコンソールボックスに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

カップホルダー

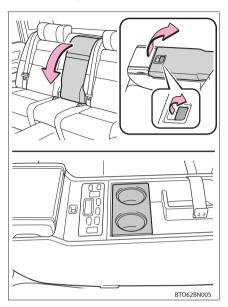
コンソールタワー部カップホルダー装着車

レバーを引いて手前に倒す

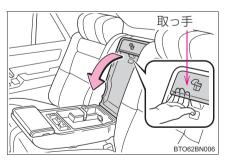
“カチッ”と音がするところまで下に押して、確実に固定します。

格納するときは、ロック解除レバーを手前に引きながら持ち上げます。

※のレバーを引くことによっても、ロックを解除することができます。

センターアームレスト部カップホルダー装着車

■ フタを開ける

リヤセンターアームレストを倒し、レバーを引いてカバーを上げる

■ フタを閉める

取っ手に手をかけフタを手前に引き出す

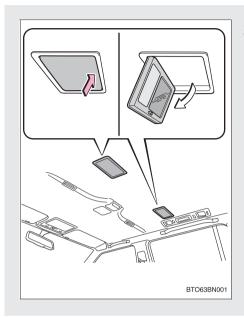
警告

■収納してはいけないもの

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

■使わないときは

コンソールタワー部カップホルダー装着車は、カップホルダーを必ず収納してください。
センターアームレスト部カップホルダー装着車は、フタを必ず閉じてください。
急ブレーキ時などに、開いたフタに体があたるなどして、思わぬけがをするおそれがあり危険です。

バニティミラー

カバーを押して開ける

カバーを開けるとライトが点灯します。

ミラーの角度は約 90°～ 132°の間で調整できます。

警告

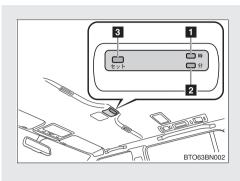
■バニティミラーについて

フタを開けたままの状態で乗り降りしないでください。頭をぶつけるなど思わぬけがをするおそれがあり危険です。

注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンが停止した状態で、長時間ライトを点灯しないでください。

時計

1 “ 時 ” を調整する

2 “ 分 ” を調整する

3 “ 分 ” を 00 にする※

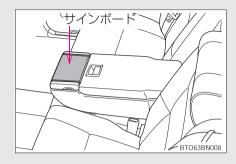
※（例）1:00 ～ 1:29→1:00
1:30 ～ 1:59→2:00

知識

■時刻が表示されるとき

エンジン スイッチが “ ACC ” または “ ON ” のとき

■バッテリー端子の脱着をしたときは

バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

サインボード

リヤセンターアームレストを倒す

⚠ **注意**

■ **サインボードについて**

先のとがったペンなどを使用した場合、表面に傷がつくことがあります。

灰皿

フタを手前に引いて開ける

取りはずすときは灰皿本体を持って取りはずします。

BTO63BN003

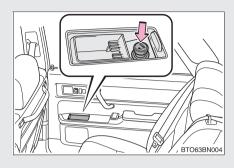
警告

■使用後について

フタを必ず閉じてください。
走行中の思わぬ事故や急停止により、けがをするおそれがあります。

■出火を防ぐために

- マッチ、タバコなどの火は完全に消してから灰皿の中に入れ、確実に閉めてください。
- 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。

シガレットライター

フタを手前に引いて開けて、シガレットライターを押し込む

もとの位置にもどったら使用できます。

知識

■使用条件

エンジン スイッチが“ACC”または“ON”のとき

警告

■やけどを防ぐために

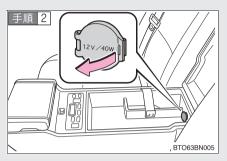
- シガレットライターの金属部分にふれないでください。
- シガレットライターを押さえたままにしないでください。
- トヨタ純正品以外の電気製品の電源ソケットを挿し込まないでください。
  ソケットが変形し、その後シガレットライターを使用したときにシガレットライターが飛び出したり、押し込まれたまま出てこないおそれがあります。

■使用後について

フタを必ず閉じてください。
走行中の思わぬ事故や急停止により、けがをするおそれがあります。

アクセサリーソケット

12V 3.3A 以下（最大消費電力 40W）の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

手順 1 リヤセンターアームレストのうしろ側のフタを開ける（→ P. 40）

フタを手前に引いて開ける

知識

■使用条件

エンジン スイッチが“ACC”または“ON”のとき

注意

■ショートや故障を防ぐために

ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。

■ヒューズが切れるのを防ぐために

12V でフロントとリヤの合計が 3.3A（最大消費電力 40W）をこえないようにしてください。

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でアクセサリーソケットを長時間使用しないでください。

格納式コートフック

フックの先端を押す

⚠ 警告

■コートフックへかけてはいけないもの

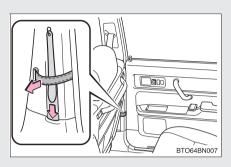
ハンガーや他の硬いもの、鋭利なものをかけないでください。
SRS カーテンシールドエアバッグがふくらんだときにそれらのものが飛び、重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■破損を防ぐために

コートフックに過度の負荷をかけないでください。

靴べら入れ

靴べらを収納することができます。

ベルトを引っ張り、靴べらを挿し込む

知識

■靴べらの収納について

靴べらの大きさ、形によっては収納できないことがあります。

お手入れのしかた 4

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施ください。

■ 室内の手入れ

掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る

■ 合成皮革部分の手入れ

- 掃除機をかけて、大まかな汚れを取る
- スポンジややわらかい布を使用して合成皮革部分に刺激の少ない洗剤を付ける
- 数分間そのままにしておいてから汚れを落とし、固くしぼったきれいな布で洗剤をふき取る

■ 本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る

  ウール用の中性洗剤を約 5%の水溶液までうすめたものを使用してください。

- 真水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

知識

■本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に 2 回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■カーペットの洗浄

カーペットは極力、乾いた状態を保つことをおすすめします。
洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。
スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布かスポンジを使って洗ってください。シートベルトの擦り切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。（→P. 42）

警告

■車両への水の浸入

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRS エアバッグの構成部品やワイヤーをぬらさないでください。（→P. 47）電気の不具合により、エアバッグが展開したり、正常に機能しなくなり、死亡事故や重傷につながるおそれがあります。

注意

■清浄するとき使用する溶剤について

- 変色・シミ・塗装はがれの原因になるため、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤、染色剤、漂白剤などは使用しないでください。
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。パネル部やその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

■革の傷みを避けるために

革の部分の損傷・消耗を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付いたほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする。特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に貼り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■床に水がかかると

水で洗わないでください。
オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因になったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線やアンテナを損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線やアンテナにそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線やアンテナを引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

■内装の本杢部について

指輪や腕時計などで傷を付けないように気を付けてください。

カスタマイズ　5

5-1 カスタマイズ機能

カスタマイズ機能一覧

お車には、設定を変更することが可能な数多くの装備がついています。トヨタ販売店で作動などをご希望の設定に変更することができます。

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>機能の内容</th><th>初期設定</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ドアロック
(→P. 14)</td><td rowspan="2">車速感応式ドアロック</td><td rowspan="2">あり</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>車速が約20km/h以上になるとリヤドアのみ自動的に施錠</td></tr>
<tr><td rowspan="6">イルミネーション
(→P. 74)</td><td rowspan="3">消灯までの時間</td><td rowspan="3">15秒</td><td>7.5秒</td></tr>
<tr><td>30秒</td></tr>
<tr><td>OFF</td></tr>
<tr><td>エンジン スイッチ“LOCK ”後の作動</td><td>あり</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>解錠時の作動</td><td>あり</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>足元照明の点灯</td><td>あり</td><td>なし</td></tr>
</table>

さくいん

五十音順さくいん